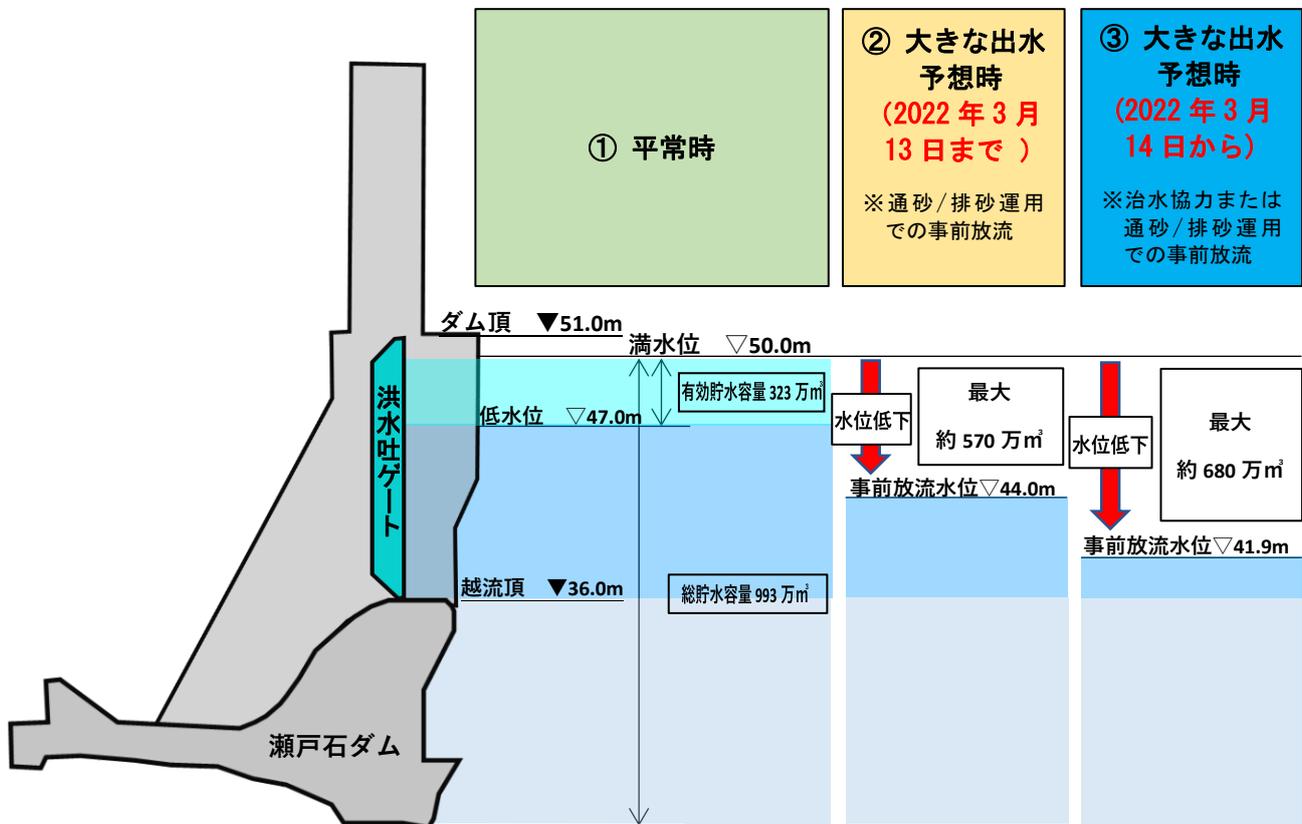


瀬戸石ダム 事前放流による治水への協力



- ・瀬戸石ダムは、国の洪水被害軽減対策としての事前放流に協力しております。
- ・この協力は、2020年5月29日に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき、大きな出水が予想された場合に実施するものです。
- ・瀬戸石ダムでは、事前放流する容量を、最大で約570 万m³(上記図②)から、最大で約680 万m³(上記図③)(+約110 万m³)とするため、この水位低下に追従できるよう網場(発電用取水口に流木等が入らないようにするための設備)の改造を実施しました。
- ・今年の出水期より、ダム水位をより低下させた協力(上記図③)を実施します。
- ・なお、令和2年7月豪雨時は、通砂/排砂運用により事前に水位を低下させており、上記図②の空き容量が確保されておりました。